



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月15日

上場会社名 東武鉄道株式会社

上場取引所 東証一部

コード番号 9001

URL <http://www.tobu.co.jp/>

代表者 取締役社長 根津 嘉澄

問合せ先責任者 経理部主計担当課長 杉山 知也

TEL (03)3621-5145

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	158,722	△1.4	13,567	6.4	10,905	25.3	6,200	△9.9
19年3月期第1四半期	160,896	2.6	12,747	△0.3	8,703	△5.1	6,883	16.3
19年3月期	651,592	—	50,204	—	41,453	—	41,842	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	7.24	6.70
19年3月期第1四半期	8.03	8.03
19年3月期	48.84	45.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	1,464,698	193,947	12.9	220.11
19年3月期第1四半期	1,544,386	160,772	10.1	181.55
19年3月期	1,490,146	189,289	12.3	214.71

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	314,000	△2.9	18,000	△21.7	11,500	△43.9	9,000	△17.6		10.51
通期	627,000	△3.8	38,700	△22.9	26,500	△36.1	20,000	△52.2		23.35

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点において、中間期及び通期の業績予想につきましては、前回発表時(平成19年5月15日)の予想を変更していません。

上記の予想は、発表日現在で得られた情報に基づいて算定しております。従って、業況の変化などにより実際の業績と記載の予想とは異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(運輸事業)

鉄道業では、設備・施設面において、すべての踏切について踏切支障報知装置の設置が完了し、さらに自動式の踏切支障報知装置が設置してある踏切への、手動式(押しボタン式)の踏切支障報知装置の併設を計画しております。また「早期地震警報システム」の導入(平成19年5月導入)や、高架橋耐震補強工事等の防災対策に積極的に取り組んでおりますほか、駅エレベーター・多機能トイレ等のバリアフリー化工事を引き続き進めております。

営業面では、「尾瀬夜行23:55」が運転開始20周年を迎え、大清水から新宿・東京駅へのお帰りの高速バスプランの発売・オリジナル空気枕や記念乗車証プレゼントなど、サービスを拡充いたしました。また、JR新宿駅～東武日光・鬼怒川温泉駅間での特急列車相互直通運転開始1周年記念イベント「水と緑の日光・鬼怒川キャンペーン」を開催し1周年記念駅弁を発売いたしました。ゴールデンウィーク期間中には直通運転区間を延長し、初めてJR横浜駅～東武日光駅間でも臨時特急列車を運転するなど様々な営業施策に取り組みました。

バス・タクシー業では、東武バスセントラル(株)が、5月24日より深夜急行バス「ミッドナイトアロー久喜」の始発を北千住駅から上野駅に延長するなど、お客様の利便性向上に努めました。

貨物運送業では、東武運輸(株)が5月1日に、埼玉県杉戸町に「東武杉戸物流センター」を開設し、業務の効率化を図りました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は54,935百万円、営業利益は8,594百万円となりました。

(レジャー事業)

遊園地・観光業では、東武動物公園において、3月10日に「ジェンツーペンギン」2羽がペンギン舎に仲間入りし埼玉県内で初めて公開したほか、3月17日には全天候型宇宙空間新規アトラクション「ギャラクシーウォーカーズ」をオープンいたしました。いずれもお客様から好評を博しております。また、東武ワールドスクウェアにおいて、開園15周年にあたる4月24日に入園無料デーを実施したほか、人気のオリジナルキャラクター「トム&マイム」によるイベントを開催するなど集客に努めました。

ホテル業では、東武ホテルレバント東京において、ブライダルサロンおよび宴会場の一部をリニューアルオープンするなど好評を博しております。また、「銀座東武ホテルルネッサンス東京」が、4月1日より「コートヤード・マリオット銀座東武ホテル」に名称変更したほか、平成20年春の完成に向けて全館リニューアル工事を進めております。

飲食業では、東武食品サービス(株)が2月28日に人気韓国家庭料理店「チェゴヤ船橋店」を、3月28日には北千住駅構内にニューアイリッシュカフェ「at EASE(アットイーズ)」をそれぞれオープンし、増収に努めております。

以上の結果、レジャー事業の営業収益は21,118百万円、営業利益は187百万円となりました。

(不動産事業)

賃貸業については、東上線増駅・霞ヶ関駅において「駅ナカ」「駅ビル」の新店舗がオープンしたほか、「駅チカ」として伊勢崎線五反野駅高架下に新たな商業施設「ekit(エキット)」がグランドオープンし、駅スペースや高架下スペースなどの当社資産の有効活用を図り、良質な商品・サービスの提供を進め増収に努めました。

分譲業については、当社において滑川(フランサ)・南栗橋(ルティアス)等での建売住宅の販売、石神井台(石神井公園マナーレジデンス)等でマンションを販売し、東上線若葉駅前でのマンション販売も予定しております。

また、東武不動産(株)では、「ヴィスタグラード宮原」(さいたま市北区)などの販売を行っております。

以上の結果、不動産事業の営業収益は11,708百万円、営業利益は2,408百万円となりました。

(流通事業)

流通業では、(株)東武百貨店の池袋店においては、4月19日に婦人服ミッシー・ミセスフロアが改装オープンしたほか、人気の「北海道展」を開催し増収に努めました。また、東武商事(株)においては、交通ICカード「PASMO」の電子マネーサービスを利用できる駅売店や自動販売機などの導入を進め、お客様の利便性向上に努めております。

以上の結果、流通事業の営業収益は60,702百万円、営業利益は1,201百万円となりました。

（その他事業）

建設業では、東武建設(株)において、宇都宮市内のマンション新築工事や建物の耐震強化工事、また、東京地下鉄(株)からレールの削正工事を受注するなど増収に努めております。

その他業では、東武緑地(株)が杉並区の梅里公園整備工事などを受注して増収に努めました。

以上の結果、その他事業の営業収益は21,774百万円、営業利益は1,406百万円となりました

＜参考＞鉄道事業旅客収入及び旅客人員表（個別）

		前 四 半 期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	当 四 半 期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	増減率
旅客 収入	定 期 外	19,553 百万円	20,052 百万円	2.6 %
	定 期	17,042 百万円	17,329 百万円	1.7 %
	合 計	36,596 百万円	37,381 百万円	2.1 %
旅客 人員	定 期 外	73,428 千 人	77,224 千 人	5.2 %
	定 期	148,763 千 人	151,695 千 人	2.0 %
	合 計	222,191 千 人	228,918 千 人	3.0 %

※ 定期外旅客収入は、急行料金を含んでおります。

※ 旅客人員は単位未満端数四捨五入で表示しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は1,464,698百万円、負債は1,270,750百万円となり、前連結会計年度と比較してそれぞれ25,448百万円、30,106百万円の減少となりました。また、純資産は四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等により193,947百万円となり、前連結会計年度と比較して4,658百万円の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、中間期及び通期の業績予想につきましては、前回発表時（平成19年5月15日）の予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 四 半 期 (平成18年6月30日現在)	当 四 半 期 (平成19年6月30日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 増 減
(資産の部)				
流動資産	202,389	170,492	189,540	△19,048
現金及び預金	41,222	29,730	33,679	△3,948
受取手形及び売掛金	33,379	36,057	35,063	993
たな卸資産	87,935	71,386	70,756	629
その他	39,852	33,317	50,040	△16,723
固定資産	1,341,995	1,294,205	1,300,605	△6,399
有形固定資産	1,127,447	1,092,002	1,098,760	△6,757
無形固定資産	9,610	20,505	20,674	△168
投資その他の資産	204,938	181,697	181,170	526
繰延資産	1	—	—	—
開発費	1	—	—	—
資産合計	1,544,386	1,464,698	1,490,146	△25,448
(負債の部)				
流動負債	401,869	392,820	377,867	14,953
支払手形及び買掛金	35,101	34,447	32,443	2,004
短期借入金	197,441	187,031	151,500	35,531
一年内償還社債	29,550	38,500	29,250	9,250
前受金	56,904	42,236	39,630	2,606
その他	82,872	90,604	125,043	△34,438
固定負債	944,108	847,331	890,631	△43,299
社債	180,990	165,990	172,490	△6,500
長期借入金	493,811	440,403	467,135	△26,731
鉄道・運輸機構長期未払金	96,647	88,741	88,741	—
再評価に係る繰延税金負債	53,065	66,118	66,137	△19
その他	119,593	86,078	96,126	△10,048
特別法上の準備金	37,636	30,598	32,357	△1,759
特定都市鉄道整備準備金	37,636	30,598	32,357	△1,759
負債合計	1,383,614	1,270,750	1,300,856	△30,106
(純資産の部)				
株主資本	106,656	119,345	115,314	4,030
資本金	66,166	66,166	66,166	—
資本剰余金	34,402	34,419	34,418	1
利益剰余金	6,823	19,773	15,719	4,054
自己株式	△736	△1,014	△989	△24
評価・換算差額等	48,915	69,174	68,588	586
その他有価証券評価差額金	45,836	40,662	40,081	580
土地再評価差額金	3,078	28,512	28,507	5
少数株主持分	5,200	5,427	5,386	41
純資産合計	160,772	193,947	189,289	4,658
負債純資産合計	1,544,386	1,464,698	1,490,146	△25,448

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 四 半 期	当 四 半 期	増 減	前連結会計年度
	自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
営業収益	160,896	158,722	△2,173	651,592
営業費				
運輸業等営業費及び売上原価	114,958	112,628	△2,330	469,733
販売費及び一般管理費	33,190	32,526	△664	131,654
営業費合計	148,149	145,154	△2,994	601,388
営業利益	12,747	13,567	820	50,204
営業外収益				
受取利息	39	38	△1	140
受取配当金	418	543	125	6,700
その他	666	1,657	991	4,781
営業外収益合計	1,124	2,240	1,115	11,623
営業外費用				
支払利息	4,819	4,450	△368	18,557
その他	348	451	103	1,816
営業外費用合計	5,167	4,902	△265	20,373
経常利益	8,703	10,905	2,202	41,453
特別利益				
工事負担金等受入額	35	57	21	14,558
特定都市鉄道整備準備金取崩額	1,759	1,759	△0	7,037
その他	1,458	446	△1,011	40,862
特別利益合計	3,253	2,263	△990	62,458
特別損失				
固定資産除却損	530	280	△250	3,554
固定資産圧縮損	37	50	12	14,702
その他	543	326	△217	24,832
特別損失合計	1,111	657	△454	43,089
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,845	12,511	1,666	60,823
法人税、住民税及び事業税	2,023	2,193	169	6,033
法人税等調整額	1,849	4,066	2,217	12,646
計	3,872	6,259	2,387	18,680
少数株主利益	89	51	△38	299
四半期(当期)純利益	6,883	6,200	△682	41,842

(3) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年6月30日) (単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不動産 事 業	流 通 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	53,281	20,347	8,249	61,477	17,541	160,896	—	160,896
(2)セグメント間の内部営業 収益又は振替高	919	1,094	2,942	495	3,938	9,390	(9,390)	—
計	54,200	21,442	11,191	61,972	21,479	170,287	(9,390)	160,896
営業費用	45,151	21,500	9,841	60,575	20,453	157,521	(9,372)	148,149
営業損益	9,049	△58	1,350	1,397	1,026	12,765	(18)	12,747

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日) (単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不動産 事 業	流 通 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	54,037	20,115	8,356	59,828	16,385	158,722	—	158,722
(2)セグメント間の内部営業 収益又は振替高	897	1,003	3,351	874	5,389	11,516	(11,516)	—
計	54,935	21,118	11,708	60,702	21,774	170,239	(11,516)	158,722
営業費用	46,340	20,931	9,300	59,501	20,368	156,441	(11,287)	145,154
営業損益	8,594	187	2,408	1,201	1,406	13,797	(229)	13,567

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日) (単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不動産 事 業	流 通 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	211,225	85,345	60,646	245,866	48,508	651,592	—	651,592
(2)セグメント間の内部営業 収益又は振替高	3,736	4,519	12,054	2,098	27,133	49,542	(49,542)	—
計	214,961	89,864	72,701	247,964	75,642	701,135	(49,542)	651,592
営業費用	184,677	88,417	63,122	241,831	71,801	649,849	(48,461)	601,388
営業損益	30,284	1,447	9,579	6,133	3,840	51,285	(1,080)	50,204